

党派を超えて国家的課題を追求する

公益財団法人協和協会

時代を刷新する会

両団体理事長 半田 晴久
科学技術部会長 中島 稔
環境技術委員長 南川 秀樹
両団体専務理事 清原 淳平

環境技術委員会のお知らせ (第370回)

日時 令和2年11月17日(火) 午後1時半～4時
場所 衆議院第一議員会館 地下1階 第3会議室

千代田区永田町2-2-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・千代田線)①番出口より2分、永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車5分。当日、午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。その時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付協のロビーにてお待ち下さい。会議開始後にお越しの方は、受付に「第3会議室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

- 議題
- 1、地球温暖化の顕在化とともに深刻化する気象災害
解説 中村尚東京大学先端科学技術研究センター 副所長
 - 2、『環境技術関連ニュース NO. 193』
解説 中島稔科学技術部会長

報告

去る10月22日開催の第369回環境技術委員会は、今回より環境技術委員長に就任された南川秀樹元環境事務次官が議長を務め行われました。まず、清原淳平専務理事より、南川新委員長の経歴紹介があり、中島稔科学技術部会長より歓迎の辞がありました。これを受けて、南川委員長より、「当面、採り上げるべき環境諸課題」と題して挨拶がありました。11月の米大統領選挙は、パリ協定に留まるか離脱するかもかかっている。トランプ氏は、「アメリカにとって不公平な経済的負担で、エネルギー産業への雇用の死刑宣告」とパリ協定を評するが、各国の努力目標を定めた協定のどこに不公平な負担があるのか私にはわからない。菅義偉内閣では、小泉進次郎環境大臣が留任した。今年はコロナ禍でCOPが開催出来なかったが、代わりに行われたオンライン会合では小泉大臣が議論をリードしていたようで、

大いに期待している。さて、当面取り上げるべき課題だが、①CO₂やメタンといった温室効果ガスの発生と気温上昇などの科学的知見の向上。②それに伴う気候変動への対応。今年は、7月は線状降水帯の発生により経験したことのない豪雨と水害が発生。8月は連日35℃を超え、熱中症が過去最多となった。生物への影響も見逃せない。暖かくなると、鹿や猪の生息域が広がる。作物への害だけでなく、鹿が媒介するマダニは人体に害を及ぼす。熊も住宅街に再三出没している。③廃プラスチック対策。このまま廃プラの海洋流出が続くと、数十年後には地球の海洋中の魚類とプラスチックの量が同じになってしまう。ただ、プラスチックは人間の生活に必要な不可欠だ。例えばコロナ対策で使っているマスクやフェイスシールドやアクリル板はすべてプラスチック製である。バイオマスプラスチック材料の開発、リサイクル技術の確立が待たれる。④廃棄物処理対策。分別がきちんとされていないものも多く、電池が燃えるゴミに混入していると焼却炉で爆発することもある。⑤大気汚染対策。数年前私がニューデリーを訪れた時、あまりの汚染のひどさに辟易としたことがある。日本は、昭和40年代～50年代に大気汚染に苦しんだのだから、その時の知見を外国に伝えられないものかと考えている。⑥原子力技術の活用。原子力を専門に教えている大学がたった4つしかなく、若者が全く入ってこず、技術が継承できないと苦悩する声を原子力関係者から聞いたことがある。燃料の研究も進んでいない。放射性廃棄物の問題もある。

次に、中島稔科学技術部会長より、『環境技術関連ニュース No. 192』の解説がありました。今回は、○温室効果ガスの排出量を実質0にするには、年間1～2兆\$の追加投資が必要との試算。○ヨーロッパでの自動車CO₂排出規制がさらに厳しいものに。ほとんどを電気自動車にしなければならないことから、日本の中小メーカーはヨーロッパから撤退の動きも。○福島第一原発の処理水対策。○CO₂原料からプラスチックや人工肉を生産する技術。などの解説があり、一同大いに勉強になりました。

★レクチュアにつき、当日会費千円にご協力をお願い申し上げます。

次回、11月17日(火)の環境技術委員会(衆1-地下1F、第3会議室)に

出・欠 (いずれかに○印)

御芳名 _____

貴方様のFAX _____

テロ対策への警備からの要請上、会員に限ります。

非会員で参加希望者は、2日前までに履歴書をご提出下さい。

(その際の当日会費は二千円となります。)

事務局宛FAX 03-3507-8587

公益財団法人協和協会 03-3581-1192 時代を刷新する会 03-3272-4320

ホームページ <http://www.kyowakyokai.or.jp> Eメール shigeta@jidaisassin.jp